

令和6年度 指定管理者評価シート

施設の名 称	小林子育て支援センター
施設所管課	健康子ども部 子育て支援課
指定管理者の名称	社会福祉法人 和泉会
指 定 期 間	令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日（3年目）

1. 施設の設置目的と概要

設置目的	子どもの遊び場を通して、親子の交流を図るとともに、発育や健康、子育てに関する悩みや疑問などについて相談や親子のふれあい事業を提供する。
概要	利用者に対し親子講座などを企画実行し、親子の触れ合いを図るよう支援している。

2. 施設の計画値と実績値等

年度	計画① (事業参加人数)		計画② (事業実施回数)		指定管理料	利用者アンケートによる満足率		備考
	計画値	実績値	計画値	実績値		(A)	(B)	
R 4	1,707 人	532 人	474 回	304 回	10,627,000 円	99%	100%	新型コロナウイルス感染症予防対策により、未実施の事業があった
R 5	1,707 人	958 人	474 回	358 回	10,530,000 円	88%	90%	未実施事業は昨年 に比べて事業実施回数を増やした。
R 6	1,707 人	1,178 人	474 回	296 回	10,503,000 円	96%	99%	

※計画①・②については所管課で設定、計画値は協定書・仕様書・事業計画書等での数値。

※利用者アンケートによる満足率（A）は、アンケート項目の「施設の総合的な満足度」において、「やや満足」以上の評価とした者の割合。（B）は、当該アンケート項目の「普通」以上の評価とした者の割合。 （*小数点以下第1位を四捨五入）

3. 各項目の評価

※評価（3点…基準よりも高い水準 2点…基準と同程度 1点…基準よりも劣る。）

評価項目	評価基準	評価
1 業務履行状況の確認		
①事業、業務の履行状況	協定等で定める開館日が遵守されているか	2
	施設の利用状況（利用者、稼働率）は適切な水準か	2
	事業計画で定められた事業が実施されているか	1
	利用者拡大のための施策等が行われているか	2
	利用料金等の徴収等の手続きは適切に行われているか	
	協定等で定める職員配置となっているか	2
	緊急時の体制は整備されているか	2
	協定等で定めた保険に加入しているか	2
	苦情等への対応は適切に行われているか	2
	個人情報情報は適切に管理されているか	2
②施設の維持管理状況	協定等で定める保守管理業務が適切に行われているか	2

	協定等で定める清掃業務が適切に行われているか	2
	協定等で定める保安警備業務が適切に行われているか	2
	協定等で定める修繕業務が適切に行われているか	2
③労務管理状況	労働環境チェックシートの各項目は遵守されているか	2
2 サービスの質に関する評価		
①実地調査に基づく評価	職員の接客態度について	2
	施設案内やホームページの見やすさについて	2
	設備、備品等が適切に管理されているか	2
	施設は清潔に保たれているか	2
	協定等で定めるアンケート調査等が行われているか	2
②アンケート等に基づく評価	職員の接客態度について	3
	施設案内やホームページの見やすさについて	3
	予約のしやすさについて	3
	実施事業の満足度について	3
	施設は清潔に保たれているか	3
	アンケート結果を踏まえ、改善が図られているか	2
3 サービス提供の継続性、安定性に関する評価		
①施設運営、事業収支の状況の確認	事業収支について応募段階の収支計画との乖離がないか	2
	事業に係る経営分析指標は適切な水準となっているか	2
②指定管理者の経営状況	監査報告書に異常な指摘事項はないか	2
	財務に係る経営分析指標は適切な水準となっているか	3
	適正な利益率を確保できているか	2
評価値	(合計65点/30項目)	2.16

※評価値については、各項目の平均値。(最大31項目) (*小数点以下第3位を四捨五入)

4. 所管課による総合評価

※総合評価 (A:極めて優秀、B:優秀、C:可、D:不可)

総合評価	総合評価理由等	
B	評価値	2.16
	総括	令和6年度に事業の計画数、及び内容の見直しをしたため、基本協定書の計画数と実施回数に乖離が生じ、計画された事業が実施されているかの項目が1点となっているが、事業数が減った分は自由来館で子育て支援機能を強化しているため、利用者数は令和5年度より増加している。また、施設管理、運営については、適切に行われており、利用者のアンケートからも良好なサービスを提供できていると評価できる。
	優れている点	緊急時等の安全管理、危機管理の体制がしっかり整備されており、トラブルや苦情もなく、アンケート結果からも利用者の満足度は高く、良好なサービスを提供している。
	課題と改善案	令和6年度より入退館システムを導入しており、アンケートからも利用しやすくなったと評価を受けている。今後は事業参加人数の増加につながるよう、イベント等の事業や入退館システムの周知方法等を工夫・検討するよう求めていく。

※「3. 各項目の評価」で「1点」があった項目は、その理由等を必ず記載すること。